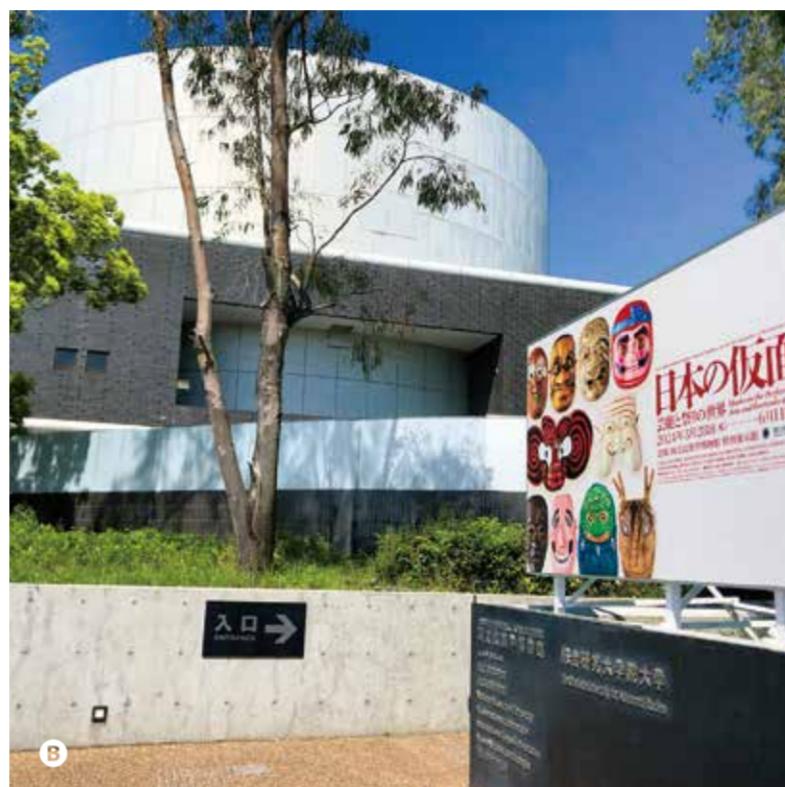




## 三島村・鬼界カルデラジオパーク 2025 鹿児島県三島村カレンダー



E 博物館では、2024年5月3日に硫黄島で撮影されたドキュメンタリー映画『島と人とメンンドン』が上映され、藤岡幹嗣監督や博物館関係者と三島村の関係者が座談会をした。登壇した博物館の人々は、古くから硫黄島と縁がある。F そのため大阪のメンンドンの扱いには特別な招待客のようなおもむきがあった。

この展覧会では日本の仮面には、時代や民族、場所の違いを越えて、よく似た点があることから、その探究には、人間のなかの根源的なもの、探究につながる可能性をもつてゐる」とある。たしかにメンンドンの超常的な厄払いの能力や、集落の人間関係から自由立ち振る舞いなど、その特徴には、どこか現代の仮面につながる点があるかもしれない。

会場は4つに区分けられ、第1章「仮面の歴史」、第2章「祭りや芸能の中の仮面」、第3章「仮面の諸相」、第4章「仮面のヒーロー」と、4つの視点で仮面が紹介された。メンンドンは、第2章の会場では「祭りの面」として、G 第3章の会場では「季節の訪れる者または地域の心靈」として、南九州の面とともに紹介された。

### 出典 順不同 敬称略

#### 表紙『大阪のメンンドン』

【取材協力】国立民族学博物館

#### 1月『俊寛の見た風景（平安京）』

【取材協力】京都市歴史資料館、京都市平安京創生館、京都アスニー（京都市生涯学習総合センター）・荒木真歩  
【参考文献】高橋康夫（2010）都のそびえる法勝寺八角九重の塔『創造する市民 第95号』、12-21。/ 富島義幸（2016）百島巡りの京の景観を読む『創造する市民 第107号』、33-40。

#### 2月『失われた信仰』

【取材協力】川野静・山口正人・日高覚  
【参考文献】三島村誌編纂委員会（1990）『三島村誌』、三島村。/ 宮本常一、宮田登（編）早川孝太郎（著）（1975）『早川孝太郎全集第九巻 島の民俗』、未来社。/ 柳田國男（1936）『山の神とヲコセ』、寧楽書院。/ 堀田吉雄（1966）『山の神信仰の研究』、伊勢民俗学会。/ 小菅貞男（1994）『ポケット図鑑 日本の貝』、成美堂出版。

#### 3月『俊寛の見た風景（日宋貿易）』

【取材協力】福岡市経済観光文化局 文化財活用部 埋蔵文化財課 大庭泰時  
【写真提供】福岡市・三島村  
【参考文献】古川田出男（訳）（2016）『平家物語』、福岡市教育委員会

会（2021）『中世博多の港』福岡市教育委員会。/ 福岡市教育委員会（2023）『福岡市埋蔵文化財調査報告書 1468：博多津』福岡市。

#### 4月『竹島の学校』

【取材協力】日高忠・山崎晋作  
【写真提供】三島村  
【参考文献】三島村誌編纂委員会（1990）『三島村誌』、三島村。

#### 5月『泡のシジミチョウと植物』

【取材協力】中村京平  
【写真提供】中村京平・写真 AC。更新日付不明。  
<https://www.photo-ac.com/main/detail/29826864/> (参照 2024-10-24) . photolibrary 写真素材 - フォトライブラリー . 更新日付不明。  
[https://www.photolibrary.jp/img890/405490\\_6970617.html](https://www.photolibrary.jp/img890/405490_6970617.html) (参照 2024-10-26)  
【参考文献】福田晴夫・廣森敏昭（2002）鹿児島県三島村黒島 2001年6月の昆虫類『鹿児島県立博物館研究報告（第21号）』、27-46。/ 中峯浩司・江平憲治・今村久雄（2007）鹿児島県三島村黒島における2006年7月の昆虫類『鹿児島県立博物館研究報告（第26号）』、89-101。/ 金井賢一・守山泰司・中峯浩司（2012）2010年10月黒島における昆虫記録『鹿児島県立博物館研究報告（第31号）』、73～78。/ 金井賢一（2015）三島のチョウの分布に関する一考察『鹿児島県立博物館研究報告 第34号』、87-94。/ 金井賢一（2015）2014年硫黄島・黒島（口之三島）のチョウ記録と、それを用いた教育実践鹿児島県立博物館研究報告 第34号』、79-86。

#### 6月『島の猫いまむかし』

【取材協力】山崎晋作  
【写真提供】山崎晋作・三島村  
【参考文献】公益財団法人どうぶつ基金。更新日付不明。  
<https://www.doubutukikin.or.jp/> (参照 2024-11-02) .

#### 7月『白化したサンゴ』

【取材協力】いおワールドかごしま水族館・中村真人・山崎晋作  
【写真提供】いおワールドかごしま水族館・山崎晋作・長瀬義人  
【参考文献】小西健二（1980）隆起サンゴ礁からみた最終氷期以降のアジア・フィリピン海プレート境界付近の地史『第四紀研究（The Quaternary Research）18(4)』、241-250。/ 大久保奈弥（2021）サンゴは語る（岩波ジュニアスタートブックス）岩波書店。/ 市立しものせき水族館海響館。更新日付不明。  
[https://www.kaikyokan.com/cms/cp\\_sealife/naturisasearukurage/#:~:text=○どうやって刺す？](https://www.kaikyokan.com/cms/cp_sealife/naturisasearukurage/#:~:text=○どうやって刺す？) (参照 2024-11-04) .

#### 8月『九月祭・神との食事』

【取材協力】大里地区・日高覚  
【参考文献】三島村誌編纂委員会（編）（1990）『三島村誌』、三島村。/ 原田信男（1997）古代・中世における共食と身分『国立歴史民俗博物館研究報告 第71集』、498-515。

#### 9月『大里の運動会（再掲）』

【取材協力】三島村大里学園・大里地区・日高覚・宮田耕  
【写真提供】日高政行  
【参考文献】吉佐和子（1960）『私は忘れない』、新潮社。

#### 10月『大里の十五夜』

【取材協力】三島村大里学園・日高覚・日高学  
【写真提供】三島村大里学園  
【参考文献】日高重行（2004）『島の歳月・鹿児島県三島村黒島』、南方新社。

#### 11月『木工品が語る片泊の昔話』

【取材協力】上國料スキ子  
【写真提供】三島村  
【参考文献】宮本常一・宮田登（編）早川孝太郎（著）（1975）『早川孝太郎全集 第九巻 島の民俗』、未来社。/ 南竹力（2021）『近海漁に使われた串木野の小型和船（改訂版）』、南竹力。/ 鹿児島県（1887）『島嶼見聞録』、鹿児島県。/ 熊本県文化企画課松橋収蔵庫（2010）『ちょっと昔の暮らし検3』、熊本県。

#### 12月『長濱吉延の見た風景（朝鮮出兵）』

【取材協力】佐賀県立名護屋城博物館・折田惠美子  
【写真提供】三島村  
【参考文献】三島村誌編纂委員会（編）（1990）『三島村誌』、三島村。/ 佐賀県立名護屋城博物館（編）（2024）『なごやめぐり』、佐賀県。

### 硫黄島